

授業科目 日常生活活動学

【担当教員名】 貝淵 正人		対象学年	2	対象学科	作業
		開講時期	後期	必修選択	必修
		単位数	2	時間数	30
【ディプロマポリシーとの関連性】					
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	
◎	○	◎	◎	◎	
【概要・一般目標：GIO】 人間の日常生活の基本として遂行される食事、排泄、整容、更衣、移動などの動作遂行に必要な条件を理解し、日常生活活動（ADL）および生活関連活動（IADL）に関連する基礎的・応用的知識について修得する。					
【学習目標・行動目標：SBO】 1. ADL の概念について説明できる。 2. 基本動作の特徴を分析することができる。 3. 代表的疾患に特有な ADL 評価を説明でき、プログラムを立案施行できる。 4. 健常者の ADL の動作を模倣・説明をすることができる。					
回数	授業計画・学習の主題	SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員		
1	ADL の基本的考え方、領域と分類、ADL 支援システム	1	講義、担当：貝淵 正人		
2	ADL 評価と動作分析の基礎知識	1・2	講義、担当：貝淵 正人		
3	福祉用具の基礎知識	1・3	講義、担当：貝淵 正人		
4	ADL の範囲	3	講義、担当：貝淵 正人		
5	健常者の BasicADL（寝返り）	3	講義、担当：貝淵 正人		
6	健常者の BasicADL（起き上がり）	1	講義、担当：貝淵 正人		
7	健常者の BasicADL（座位保持・立ち上がり）	3	講義、担当：貝淵 正人		
8	CVA の ADL（ADL）評価	3	講義		
9	CVA の ADL（ADL）評価	3	講義		
10	CVA の ADL の工夫（更衣・整容について）	3	講義		
11	ADL 評価（Barthel Index, Katz Index, FIM）	3	講義、担当：貝淵 正人		
12	ADL	2	講義、担当：貝淵 正人		
13	dressing	1・2	講義、担当：貝淵 正人		
14	toileting	1・2	講義、担当：貝淵 正人		
15	まとめ		講義、担当：貝淵 正人		
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)		I・ADL 第3版—作業療法の戦略・戦術・技術	生田宗博	三輪書店	2012・5,670 円
参考書		日常生活活動の分析	藤澤宏幸	医葉薬出版	2012・5,880 円
		片麻痺能力回復と自立達成の技術—現在の限界を超えて	生田宗博	三輪書店	2008・5,460 円
その他の資料		プリント			
【評価方法】 (1) 出席 2 / 3 以上 (2) 期末試験 60 点以上 (1) で、かつ (2) の場合合格とし、期末試験の結果を評価とします。		【履修上の留意点】 動きやすい服装で臨むこと。 実際のクライアントと接する際には真摯な態度で臨むこと。			